

五、操業時子程程

六、解社者海防一併

七、役員之際に年寄交託

八、寄附金に設備改善

九、常務組員に分派

一〇、倉庫に改善

一一、医師に改善

一二、社員の間に疑心をもたせしむ

左記の如く之を二十七名 代表者四名 丸製工場長三名

又同答するものは一人に於ては公金書に演説居る

寄附金に代表者 森井日初外廿九名に外出せしむ

免登海防の柳田之を同日帰任せしむる先づ之

等廿二に帰任せしむるに於ては 田舎にも 申事外十

に近き要飲の場を正し教を

廿七日 市母 宇治 森 釘 世 外 三 丁 目 三 借 事 外

三 年 際 國 中 印 三 設 備 一 軍 資 金 十 萬 子 報 復 一